

# 東京山桜会

## 催事レポート

### 校外授業とグルメの会



平成13年10月19日、王子扇屋にて昼食会をし、東京山桜会会員22名が集まり、二代將軍家光からの『釜焼き玉子』に舌鼓をうちました。厚さ6〜7cmのラウンドケーキみたいな玉子焼き(直径25cm)で、とてもおいしく頂きました。掛茶屋として文人墨客の筆や、江戸錦絵に登場したり、落語の『王子の狐』の話題に出てくる有名な『釜焼き玉子』だそう。ポリウムたつぷりで、腹も満足し一行は、千円札、壱万円札を造っている財務省印刷局滝野川工場見学へ向かいました。貨幣は大造幣局で、紙幣は印刷局(数ヶ所)で造られるそうです。一億円の重さが10kgで、その重さにビックリしました。一千万円で1kg。目の前できれいな一万円紙幣がまたたくまに札束となつてきれいに整列していきます。私達の目の前で220kgの札束の積み重なつた物体に、思わず福をささがるように香りをかぎ手で頭や胸をおおいでました。500kgの所では、この不況を乗り越えられるように願いながらできたのお品(お札のこと)を見てみると、こちらまで新鮮になり、元気になり豊かになりまし

ながら目の前で見て、よくわかりました。垂水幹事(小53期)元大蔵省銀行局長のお世話で、普通では見れない工場をゆつたりと見学できました。楽しかったです。一行は、お土産に、お札サブレを買い旧古河庭園に向かいました。英国人のジョサイア・コンドル(鹿鳴館設計で有名)が、古河洋館と洋風庭園を設計し、和風庭園は、植治こと小川治兵衛が造りあげたものです。大正時代の貴族の古河財閥の洋館を説明を聞き貴族気分を味わいながらバラの咲き誇る庭園を見ながら皆で、ゆつたりとホッと安らぎながらティータイムをとり、洋風庭園、和風庭園へと散歩見学をし、よく歩き楽しく充実した一日に感謝し、各自それぞれお礼クッキーを手にし風呂がこいしく家路につき一行でありました。



(佐伯記)

## 東京山桜会ご案内

例年通り6月第2土曜日、皇居前東京会館に於て第45回東京山桜会総会を開催致します。在京の方々のご参加をお待ちしております。

6月8日(土)午前11時開場  
会場 東京会館 東商スカイルーム  
懇親会 会費1万円

関東地方に転居・転任・就学された方は是非下記迄ご連絡下さい。

東京山桜会事務局 萩原正民

〒216-0023 川崎市宮前区けやき平1の54の101  
TEL / FAX 044-877-2138

### 東京山桜会 カルチャーの集い

#### 『校外授業』のご案内

秋10月19日(土)  
11:00~17:00

清澄庭園  
江戸の豪商・紀ノ国屋文左衛文の屋敷・回遊林泉庭園  
江戸東京博物館  
江戸東京の文化遺産を次代に継承する都市と生活を考える場  
グルメ深川  
高ばしどぜう伊せ喜  
下町情緒と非日常料理をお楽しみに。

お問い合わせは東京山桜会事務局迄

FAX 044-877-2138

萩原正民(小53期)

## 小105期同窓会

平成14年1月14日(祝)小学校百十記念ホールにて、小学校105期生の「成人の日学年同窓会」が行なわれました。

小学校卒業時、当時の学年主任である吉田茂先生が、「君たちの成人式は小学校の講堂で行ないます。20歳の成人の日にごで会いしましょう」と約束されました。そして8年が過ぎ...  
着物に身を包んだ女の子の背が伸びてスーツで決めた男の子。子どもの成長を微笑ましく見つめるお母様方。そして、懐かしい先生方。130名を超える参加者が集まり、華やかな会となりました。  
最初に井上嘉一郎君と井上陽次郎君の祝舞「連獅子」が披露されました。  
厳粛な中にも優雅な舞で、

成人の祝いにふさわしい盛り上がりでした。  
1年生でお世話になった中桐先生のご冥福をお祈りして黙祷を捧げ、吉田先生の懐かしいお話し振りに小学校時代を思い出しました。その後、金城様が8年間預かって下さっていた卒業謝恩会での「思い出のアルバム」(スライド)を見ました。14年前の入学式から卒業までのいろんな写真があり、時にはかわいい顔のアップで大爆笑!みんな、立派に成長しましたね。桂薫先生や今中先生のスピーチも懐かかったです!



田辺先生の乾杯の合図で立食パーティー開始。携帯電話片手に、電話番号やメールアドレスのやりとりをする姿があちこちで見られます。それが終わったら、恩師の先生方と記念撮影。にぎやかな笑



い声がホールに響きました。そして、お待ちかねの抽選会。1等のデジタルカメラは自分の物と、司会の竹内先生の呼び番号に一喜一憂。全員が賞品を持って帰りました。  
最後の東田先生のお話。よく通る声、8年前と変わっていません。今は、オール4クラスですが、初めて4クラスになったときの1年に組の担任の先生です。教室は2階でした。みな、覚えていませんか?  
ホールの後片付けをみんなでした後、お土産の「成人の日記念ワイン」が配られました。家に帰って、おうちのひと祝つて下さいね。  
次の同窓会はいつでしょう? 今から楽しみですよ。  
(幹事代表)

### 会員だより



元好 明子 (29期生)  
京都ノートルダム女子大学専任講師  
中東・アラブ文化専攻

追手門学院大手前中・高等学校を卒業してから、はや21年の歳月が流れました。その間、めくるめくいろいろなことが数え切れぬほどありました。が、その中でも一番感慨深かったことは、昨秋のヨロ(博士号)の取得。も、これがとれたら、もう何もいらないと思つたほど得がたいものでした。  
2001年9月11日、米国のインディアナ大学ブルーミントン校キャンパス内の寮で、髪を振り乱して博士論文の最終原稿に取り組んでいたわたしは、アメリカの友人からか

つてきた電話でテロ事件のことを知り、即座にテレビをつけました。犯人がアラブ人らしいという報を聞き、これまたアラブ・イスラエル紛争の解決が遠のくことになるのかと長息。数日後、論文の修正を終わらせ大学院に提出し、テロの影響で予定より数日遅れて帰国の途につきました。その1ヶ月後、ヨロを中世アラブ文学専攻でインディアナ大学主として、近東言語文化学より授けられました。

高校卒業後、亡き母がわたしを入れたてたままなかつた京都ノートルダム女子大学の生活文化学科へ進学し、大学へ行くのは生活時間のはじめとを、ブルの中でシンクロナイズドスイミング(浜寺水練学校所属)に費やしました。大学卒業後、シンクロのコーチおよびジャッジとしてブルサイドに立つ3年はど続きましたが、ある日、レバノン人作家、ジュブラン・ハイルル、ジュブランの「預言者」という作品を

邦訳で読み、感銘を受け、アラブのことを勉強しようと思いついたので。翌年、大阪外国語大学アラビア語学科へ入学し、2年生が終了する、米国のミシガン大学アン Arbor 校、中東・北アフリカ研究所大学院修士課程で学ぶために渡米。1年半後、ミシガン大学より修士号を取得し、ヨルダン大学アンマン校へ留学。はじめての中東でした。アンマン空港から宿舎へ向かうときに車中から見た落着く夕陽は、それまで見たことがないほど大きくて赤くて美しかったのを覚えています。そこで1学期間を過ごした後、ロータリー財団の奨学金を得て、エジプトのアメリカーン大学カイロ校で1年間のアラビア語集中講座にアメリカ人学生とともに参加。カイロは若くて人があふれていますが、とても人情深くエキサイティングな街でした。

99年から2年間、外務省よりレバノン日本大使館へ専門調査員として派遣されました。レバノンは、わたくしがアラブの勉強を始めたときから憧れの国でした。大使館では文化・広報担当を務め、日本の外交や文化無償援助のことなどを多く学び、貴重な体験をしました。仕事は多忙を極めました。レバノンで暮らし、アラビア語を話し、レバノン人と触れ合うことができたのは大きな喜びでした。  
2001年の3月末、10年間に亘る海外生活にピリオドを打って、レバノンより帰国。以来、母校である京都女子ノートルダム女子大学人間文化学科で、専任講師として、中東・アラブ文化とアラブ文学を教えています。海外にいた10年間、米園から中東と日本を、そして中東から日本と米園を見る機会を得ました。日本へ戻ってきて、今度は日本から中東と米園を観察しようと思つています。あのテロ事件がもたらした数少ない良い事のひとは、世界中に中東への関心を喚起したことでしょう。日本人として事象を見つめ、他国あるいは他人の意見に惑わされず、何を正しいと何を間違っているかを見極め、自分の意見を表明し実行していくことができるようになりたいと切に願つてやみません。  
( )